

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第81号 2015年11月5日

p5
特集
未来を拓く人づくり推進事業



写真

松岡・北原自治会 高橋家
開村百周年を記念して大家族

- p2 9月定例会 こんなことが決まりました
- p6 一般質問に5議員が登壇
- p12 行政報告
- p13 Topic議会
- p14 町民インタビュー聞かせて

小学校教育用パソコン更新 最先端のICT教育を



▲小学校コンピューター室（更新前）

【財産の取得】
（全員賛成可決）
平成21年度に導入された小学校教育用パソコン備品の保守期間が終了するため、北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業を活用して更新するものとし、これを可決しました。

9月定例会議

9月定例会議（第3回定例会）は、平成27年9月16日から17日にかけて開催され、条例改正や補正予算が審議されました。また、一般質問では5人の議員が登壇し、意見書1本を可決して閉会しました。
なお、今定例会の傍聴者は延べ10人でした。

質疑応答

Q&A

Q パソコンのメーカーはどのようなものか。

A また、ソフトウェアは、

Q OSはWindows7、メーカーは富士通で小学校向け学習・授業支援ソフトも今までのものをバージョンアップしたかたちでの導入となる。

Q 国が掲げる教育目標ではなく、和寒町独自ではどういった取り組みでいくのか。

A 子どもたち一人ひとりがパソコンを道具として簡単に操作できるようにする能力を身に付けさせることが大切。

先生方の指導力向上が必要になると思うが、小中学校には上川北部の情報教育を牽引してくれる先生方がいるので、子どもたちの力を伸ばして欲しい。

Q Windows8を購入しておけば無償で10にバージョンアップできたのではないか。

A また、メンテナンス・保守点検関係は。

Q 購入するパソコンはWindows8が入っている機種で、これを7にダウングレードして使用するかたちになっており、機種のには最新のものになっている。

A メンテ・保守についてはこれから保守契約を結び予定。

北海道市町村備荒資金組合への支払計画

引渡期日	平成27年10月30日	代 金	13,176,000円
初回支払期日	平成28年 3月31日	利 率	0.10%
最終支払期日	平成32年 3月31日		

※北海道市町村備荒資金組合って？

災害に備える資金の積立てを行うため、北海道内全ての市町村で組織された組合です。組合では、蓄積された積立金を活用して各種事業を行っており、今回のパソコン更新にあたり活用しています。

条例など

【議会会議条例の一部改正について】

（全員賛成可決）

議員が出産のため欠席する際、日数を定めて、あらかじめ議長に届け出ることができる条項の追加を可決しました。

【議会傍聴規則の一部改正について】

（全員賛成可決）

議会傍聴者がつえを持ち込むことができる文言の改正を可決しました。

【手数料条例の一部改正について】

（全員賛成可決）

マイナンバー制度の導入に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料の規定を追加するものとし、これを可決しました。

【個人情報保護条例の一部改正について】

（全員賛成可決）

マイナンバー制度の導入に伴い、個人情報をより厳格に保護するための改正を可決しました。

【町営バス運行条例の一部改正について】

（全員賛成可決）

【スクールバス運行条例の一部改正について】

（全員賛成可決）

町営バス中和線の一部を路線変更する改正を可決しました。

【北海道町村議会公務員公務災害補償等組合規約の変更について】

（全員賛成可決）

【北海道市町村総合事務組合規約の変更について】

（全員賛成可決）

【北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について】

（全員賛成可決）

構成団体の変更による改正を可決しました。

補正予算

各会計表の主な増減は下表のとおりです。

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

総額で約1,113万円の増額補正を可決。

修繕料（自治会館等）では、修繕要望・修繕指摘のあった自治会館7箇所と交通安全啓発看板の修繕料を補正。

商工業新規就業者対策補助では、新規就業者補助1件、新規開業者促進補助1件分を増額補正。

修繕料（公営住宅）では、あかしあ団地における煙突凍結を防止する修繕料の増額補正。

【国民健康保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

高度な先進治療に要した医療費の発生による増額補正、交付金清算による償還金の増額補正を可決しました。

各会計の主な補正内容

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	43億8668万円	1113万円	43億9782万円
主な増減内容 (※1万円未満切捨て表記のため、各事業補正額と補正額の合計は合致しません。)	○修繕料（交通対策事業）		96万円
	○修繕料（自治会館等）		246万円
	○障がい者自立支援給付費国庫負担金等返還金		219万円
	○介護保険特別会計 介護サービス事業勘定繰出金		△243万円
	○児童手当交付金返還金		100万円
	○公共下水道事業特別会計繰出金		114万円
	○商工業新規就業者対策補助		100万円
	○修繕料（公営住宅）		480万円
国民健康保険特別会計	7億1080万円	931万円	7億2011万円
公共下水道事業特別会計	2億2880万円	114万円	2億2994万円
介護保険特別会計 介護事業勘定	5億7112万円	995万円	5億8107万円

補正予算

【公共下水道事業特別会計補正予算】
（全員賛成可決）

終末処理場管理費の執行残精算による減額補正、過年度分下水道事業債の償還期間短縮に伴う償還二元金の増額補正及び償還利子の減額補正を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】
（全員賛成可決）

保険事業勘定では、過年度分精算による各種返還金の増額補正。

介護サービス事業勘定では、前年度繰越金を一般会計繰入金へ充当する増減額なしの補正を可決しました。

委員会付託

【平成26年度国民健康保険町立和寒病院事業会計決算認定】

町立病院事業会計に係る決算について、決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中に審査することとしました。

人事

【教育委員会委員の任命】
（全員賛成可決）

福井教之氏を任命することに同意しました。

平成19年に初任命され、今回で3期目になります。（任期4年）



報告

【平成26年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】

和寒町の財政状況は健全である旨の報告がありました。

みんなの声を国政に

公益に関わる次の1件について、議員から意見書案が提出されました。
第3回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 佐々木広行
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣
農林水産大臣 経済産業大臣 国土交通大臣 環境大臣 復興大臣

（要旨）

地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するため、国においては次の事項を実現するよう要望します。

1. 京都議定書第二約束期間における森林吸収量の国際的な算入上限3.5%分を最大限確保するため、「地球温暖化対策のための税」の用途に森林吸収源対策を位置づけるなど、森林整備や木材利用のための安定的な財源を確保すること。
2. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用安定化を図るため、公共事業である森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
3. 川上から川下に至る総合的な対策を地域の実情に合わせて柔軟に展開するため、「森林整備加速化・林業再生対策」を恒久化し、財源を確保すること。

◆各意見書の詳細についてはホームページ上で公開しています。
<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp> 「トップ画面」⇒「和寒町議会事務局」⇒「議会結果」



和寒中学校2年生32名が国際交流研修事業により

台湾へ訪れました!!

特集!

未来を拓く人づくり推進事業

国際交流研修参加者インタビュー

研修先では現地の学生との交流のほか、社会見学などを通して異文化に触れる貴重な体験をしました。

今回参加した中から東陽一さん、外山睦子さん、西本芹郁さんの3名の方からお話をお伺いしました。

Q 研修中、一番興味深かったことは？

(外山) 街中香辛料の匂いがすごく、スイーツスの中が香辛料の匂いに包まれました。

(西本) 台湾の皆さんは日本が大好きな方々が多いと感じて、なぜだろうと思いました。

(東) 水が汚かったですね。歯を磨こうと思ったら水が茶色だったりして、シヨックを受けました。

(3人) レストランで「ゴキブリ」に遭遇しました！

Q 一番困ったことは？

(外山) 日程がハードでした。

(3人) ホテルに帰って来てから就寝時間まで30分くらいしかなかったです。

(西本) 日本語が通じないので、大変でした。ガイドの方などに手伝っていただいたので助かりました。

(東) 暑かったことですね。暑いのは苦手なんです。(3人) 外は暑くて、建物の中はクーラーが効き

すぎていて逆に寒かったです。

Q 一番印象に残ったことは？

(外山) 交流した両校とも英語のレベルがとても高く、同年代なのに自分が知らない単語をどんどん使っていました。

(西本) 日本食と台湾食では匂いや食べ物の種類が違ったことが印象的でした。

(東) バイクがとても多かったことにびっくりしました。

Q ホームステイが研修にあればしてみたいか？

(外山) 安全が保障されていたら行ってみたい。

(西本) 姉もホームステイに行っていたのですが、そのときの話を聞いているとやっぱり行きたかったです。

(東) 興味はありますが、生活面に不安があるので…。

Q 帰ってきて思いが変わったことは？

(外山) 英語ですね。漢字を書けばなんとか伝わりましたが、英語を話せないとなかなか交流できなかったのです。

(東) 個人でやるのが多かったのですが、親に頼らず自分でやるのかなと思いました。



▲左から外山さん、西本さん、東さん

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

質問議員	質問事項	ページ数
窪田 裕二 議員	①経済情報誌の掲載記事は ②商工業の雇用促進助成は	7ページ
石田 利美 議員	①新たにチップ燃料の熱源供給施設の考えはあるのか	8ページ
中原 浩一 議員	①個人番号カードの交付に伴う説明会開催を ②小中学校での虫歯予防対策は	9ページ
佐々木広行 議員	①流出する購買力の食い止め策は ②指定管理者制度の運用は	10ページ
伊藤 明 議員	①農業用排水対策を ②福祉とまちづくりは	11ページ

窪田裕二議員



問 経済情報誌の掲載記事は 答 掲載内容に相違がある

問 商工業の雇用促進は 答 検討する必要がある

誤解を招く恐れがあるのでは

6月定例議会において景観の問題や観光資源発掘に向け、塩狩温泉跡地と夫婦岩取得に4,830万の補正予算が提出され、議会で議決し、町民の意見が反映したと考えています。

しかし経済情報誌に塩狩温泉跡地と夫婦岩について記事として掲載され、内容を見る中では行政・議会・町民の意見が反映されておらず、和寒町としても誤解を招くのではないかと。掲載内容も含め奥山町長の所見は。

奥山町長

塩狩温泉については、平成17年9月に閉鎖後、一部が破損し大変危険な状態であり、町民からも「対応策は無いのか」と言った声

も寄せられていた。

また、議会で説明が無かったと掲載されていたが、1月と2月の全員協議会で説明をしたほか、6月に産業教育委員会と全員協議会で説明してきたところであり、記事内容とは、反すると考える。

いずれにしても、塩狩温泉跡地と夫婦岩周辺の土地を取得した際には、観光振興地域として、町民・議会をはじめ、意見を伺いながら進める考えである。

○再質問

国道の景観問題であれば、他にその様な場所はあるが、なぜこの場所を特化したのか。

奥山町長

塩狩は特に和寒町の顔であるということと、それと道外・町外の方からの意見があることから、夫婦岩と南丘森林公園の地域を一

体的に考えて決めるべきである。

○再質問

記事内容で「所有者と親戚筋では」と記載されていたが、どうなのか。

奥山町長

所有者の方と親戚関係は全くない。

○再質問

温泉施設としての活用は考えているのか。

奥山町長

温泉施設については、近隣に温泉施設もあることから、考えていない。

○再質問

塩狩・夫婦岩・南丘公園周辺の場所を、観光資源にする自信はあるか。

奥山町長

自信を持って、やら

なければならぬ。



▲旧塩狩温泉跡地

継続的な支援策は

和寒町が抱える人口減少問題、国が掲げる人口減少に対する地方創生、これらの問題解決として、企業の実業は必要不可欠と考える。

それに伴い、国でも中小企業雇用促進事業は推進しているが、中々使いづらい一面もある。

また、和寒町も色々

な支援策を打ち出してきましたが、雇用を維持する継続的な支援策があっても良いのではないかと考える。

これからの和寒町の取り組みとして、商工業の支援策はどの様な考えか。

奥山町長

これまで、商工業活性化融資制度、中小企業補償融資制度を設けているほか、商工業新規就業対策事業補助など取り組んでいる所でもある。

しかしながら、高齢化の進む本町において、人材確保が課題になってきているほか、継続した雇用の場の確保も課題であるため、十分に検討する必要があると考える。

問 新たにチップ燃料の熱源供給施設の考えはあるのか

答 方向性をみながら検討して行く



石田利美議員

新たにチップ燃料の熱源供給施設の考えはあるのか

森林整備事業から木質チップ製造及び供給に至るまでの林業事業の活性化や雇用の創出をめざした地域内循環システムの構築を図り、町内公共施設へ熱源として再生可能エネルギーである林地残材等を有効利用し、化石燃料を使わずクリーンで環境にやさしいまちづくりの推進を目指してきたが、新たに熱源供給施設の考えはあるのか。

奥山町長

化石燃料から発生する二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化を抑え、町内資源を活用できるエネルギーの利用を目指し、平成21年度に和寒町地域新エネルギービジョンを策定した。

これを踏まえ、町有林の間伐材を木質バイオマスの資源として活用するため、国の補助金を活用して平成25年に木質バイオマス燃料製造施設と熱源供給施設を整備した。

現在は、年間約450トン程度のチップを製造し、消防庁舎を含む役場庁舎、保健福祉センター、図書館の3施設に熱源を供給している

新たな熱源供給施設の整備は、現在の公共施設の中で、例えば小学校のようにお湯を循環させている暖房設備であれば、チップ燃料の熱源を利用することは可能であるが、隣接する公民館や中学校などは灯油による暖房施設のため、施設内部の整備が必要となる。当面は、今後の運転状況を見極めて進めていきたい。



▲木質チップボイラー

○再質問

木質バイオマス燃料製造施設は、指定管理者により運営されているが、どれだけの雇用が生まれたのか。

産業振興課長

新規雇用は、当初3名であったが、現在は2名雇用している。

○再質問

今現在、指定管理者である和寒環境整備事業協同組合に属している組合の件数は。

副町長

当初は7事業者で、その後、森林組合も加入し、8事業者である。

○再質問

和寒町は面積の65パーセントが森林に囲まれている町であり、地域内循環システムの構築を図るため、町有林・私有林をどう活用するのか。

奥山町長

木質チップ製造施設は、自然環境の保全や地球温暖化も含めて、和寒町も取り組み、同時に雇用の促進も進めてきている。

今後当然続けていくべきと考えている。これから私有林も協力を頂き、安定した間伐材をチップ材料として確保していかなければ

ならない。そのためにも森林組合等と連携しながら努力していく。和寒町のチップボイラー、熱源供給施設の増設については、方向性を見ながら検討する必要がある。

和寒町の森林面積

森林面積	14,502ha	和寒町全体の65%を占める
内訳	民有林	6,622ha(46%)
	国有林	7,880ha(54%)
		民有林とは町有林及び私有林
		国有林とは国の所有森林

中原浩一 議員



問 個人番号カードの交付に伴う説明会等を 答 より丁寧な説明に努める

問 小中学校での虫歯予防対策は 答 学校保健安全計画に歯の健康も位置付け

個人番号カードの交付に伴う説明会等を

今年の10月5日から通知カード、来年の1月1日から個人番号カードの交付に伴う施行期日や手数料、特に機能性（町民がどう使っていけるのか）などの説明会等を開催すべきと考えますが如何か。

奥山町長

個人情報管理も含めて不安な面があるといった報道もされており、町民からも同様の意見があることから、今後は、国から出される情報をその都度お知らせしていくことに、10月以降の通知カードの送付時や個人番号カードの発行時にも必要な情報をお知らせするなど、より丁寧な説明に努める。

○再質問

年金機構の個人情報の漏洩事件もあつたことから、本町のセキュリティ対策をどう構築していくのか伺う。

奥山町長

セキュリティ対策については、本町における住民台帳や税情報を扱うシステムと、インターネット接続回線が分かれているため、外部からの個人情報漏えいされる可能性は極めて低いものと考えますが、今後、システムの担当業者と連携を図りながら、情報の管理を徹底していく。



▲個人番号カード

小中学校での虫歯予防対策は

小中学校での虫歯予防対策をお伺いする。

また、神奈川県小尾小学校は「健康な歯を目指す子」の育成を掲げ様々な学年ごとの取り組みを行っていることが評価され、昨年10月に文部科学大臣賞を受賞した。

和寒町でも、教育委員会、学校、歯科医、保護者が一体となって「歯科保健」の重要性による、「正しい歯磨き」「歯に関する知識」を生徒に指導しては如何か。

教育長

自校で作成している学校保健安全計画の中に歯の健康を位置付け、各学年の発達段階に応じた内容を担任が指導するほか、全校集会で指導する場面や、学校だよりで保護者に

対して虫歯予防における啓発活動にも努めている。

横浜市小尾小学校の状況を調べてみると、熱心な学校歯科医によって、年14回、学校を訪問し、磨き残しチェックやブラッシング指導など通じ、虫歯の数が0.13本と少なく優良校として表彰された。今後の虫歯の予防対策であるが、新潟県のフッ化物洗口による虫歯予防の取り組みなども参考とすべきと思っている。

○再質問

洗口に使われるフッ化物は毒性があり、薄めてそれを口に含んでうがいをするというところだが、1%でも心配があり安全性が確保されなければ使うべきではないと思っている。いろんな体質の子どもがいて、フッ化物洗口が要因で副作用によ

り体調を壊したときの責任問題があつてはならない。

教育長

補完する意味で週1回の洗口を考えている。責任問題については、定められた手順・方法によって適切に実施された場合、万が一有害作用が起つた場合には、国・道、実施主体である町村にそれぞれ責任を伴うと言われている。

○再質問

虫歯予防をフッ素洗口に頼るのではなく、歯磨きの仕方をきちつと指導しそれを習慣付けして、他の生活面でもきちつと指導していくことが大事と考える。

教育長

当然子どもたちの生活習慣の1つである歯磨きは大事な要素である。

問 流出する購買力の食い止め策は

答 プレミアム商品券を含めて総合計画などで十分検討していく



佐々木広行議員

問 指定管理者制度の運用は

答 新たな指定管理者制度の導入は十分検討して取り組む

商店街の活性化

本町の人口が減少して購買力が低下している。

商店街では人の出入りがめつき減り、なかには閉店を余儀なくされた店もある。

中小企業の経営が苦しくなっている現状に鑑み、これから商店街の活性化を図る施策が必要と考えるが、町長の所見は。

奥山町長

過去には、和寒町商業振興店舗近代化事業に取り組み、町並みの景観整備などにも支援してきたが、商店の減少に歯止めがかかっていない。

このため町では、プレミアム付き商品券への支援や空き店舗を利用したサロンの開設など、町内経済の活性化や中心部の賑わいづく

りにも取り組んでいる。

○再質問

最近では愛町運動の取り組みがされていないと思うが、町の経済関係者と協議して進めべきと考えるが。

奥山町長

今までの取り組みなどを参考にしながら、また他の町での取り組みを含めて、総合計画、総合戦略などで反映できるように検討していく。



▲わっさむ活活商品券

指定管理者制度の運用は

最近の行政業務は多岐に渡っていることから、指定管理者制度の活用が必要と考えられるが、町長の所見は。

奥山町長

指定管理者制度は平成15年9月の地方自治法の一部改正により、民間事業者なども可能にしたものである。

本町では18年3月に和寒町公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例が制定され、運用が始まった。

町ではこの条例に基づき施設運営の効率化やサービスの向上を念頭に平成18年9月からカントリーエレベーターを北ひびき農協に、平成20年度から芳生苑と健康苑を社会福祉協議会に、三笠山自然公園と東山スキー場を道

北環境整備協同組合に、総合体育館と研修館、総合運動公園などの運動施設を町体育協会に、さらに平成25年には木質バイオマス燃料製造施設を環境整備事業協同組合に、それぞれ指定管理者としている。

○再質問

本町には、委託管理者契約にライフサポートと和光クリンがあるが、指定管理者契約にすることによって、町の責任の問題と雇用促進が図れるのではないか。

今後新たな指定管理者制度の導入にあたり、その施設や業務が効率的な運営やサービスの向上と民間事業者の創意工夫が生かせるならば、十分検討した上で取り組む。

町の委託で事業をしているものについては、業務の推進上、指定管理にしたほうがスムーズに行くものについては、今後十分研鑽と検討を重ねた上で取り組む。



▲木質バイオマス燃料製造施設内部

伊藤 明議員



問 農業用排水対策を 答 関係機関と連携し被害を最小限に

問 福祉とまちづくりは 答 人材確保の課題やニーズを整理し検討

農業用排水整備と今後の対策は

台風や異常気象による農地の被害について、今後の対策はどのように進めるのか。

奥山町長

近年、毎年のように発生する大雨による道路側溝や農業用排水への土砂等の流入、法面の崩壊、農地への浸水は農作物の品質低下などの被害が発生している。

これら被害を最小限度に食い止めるため、不良排水路整備事業を進めているが、河川の排水能力を大きくすることが必要のため、町管理河川の改修も併せて行っている。

今後、関係機関とも連携して対応したい。

○再質問

山林の保水力もまた水害との因果関係がある

と思われるが、伐採跡地への植樹義務の指導は。

産業振興課長

間伐を行なつて2〜3年以内の植樹義務があるが、実態として放置されている山林が数ヶ所あるため、上川総合振興局と連携しながら指導、監督をしてきた。

これからも継続して対応していきたい。



▲菊野橋よりペオッペ川下流を望む

○再質問

ペオッペ川三和付近では、立木が過度に生い茂り流れを遮っているが、これらの対策は。

建設課長

ペオッペ川は土木現業所の管理下にあり、5年ほど前より支障木の整理が始まり、現在は剣淵川との合流点から上流へ向けて8号道路付近まで終了している状況である。

町政懇談会等での要望もあり、9月10日に土木現業所へ出向き事業の早期継続をお願いしてきた。

福祉とまちづくりは

本町の商店街は、高齢化等による閉店が進み、老後を都市部で過ごす傾向があつたとを絶たない状況である。

これからの高齢者対策として、町が跡地を購入し駐車場として活用すると共に、のちに集団化して生活支援住宅等の建設を考へはないか。また、2025年間

題に備えて介護施設の充実を図り、上川北部地域の高齢者を一手に引き受けるくらいの思い切つたまちづくりを進める考へはないか。

奥山町長

現在、第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の中で介護保険制度で入居できる施設と、それ以外の住まいに関するニーズを整理し、地域で継続できる方法を検討していくこととしている。

高齢化が進む中でサービスの内容や住宅規模、整備箇所、運営方法について多くの課題がある。

また、2025年問題についても近い将来ではなく目の前の課題として捉える必要があり、特別養護老人ホームを始め、訪問介護や通所介護、短期入所生活介護、訪問看護といった町内の民間事業者

も含めた現在のサービスを維持していく上で、人材の確保が大きな課題になっている状況も踏まえる必要がある。

このため、町としては、議会でもご検討いただいている高齢者福祉住宅の問題とともに、福祉サービス従事者の確保について、早急に検討する必要があると考えている。



▲かたくり荘

行政報告

経営所得安定対策制度

223戸が申請を終え、9月11日には営農継続支払交付金が164戸に2億4,370万円余りが交付され、今後は、水田活用直接支払交付金が12月に交付される予定となっております。

土地改良事業

本年度は道営土地基盤整備事業の和寒北部地区ほか2地区が採択され、調査設計業務が進められております。

また、暗渠工事実施中の4地区につきましても、35ヘクタールで春工事が完了し、残る55ヘクタールが秋冬工事を施工する予定となっております。

わっさむ活活商品券

本年度は2回に分けて販売することとし、1回目の予定枚数を7月28日に完売したところであります。

今後、11月に予定されている2回目の販売によって、より多くの方々にご利用いただき、地域経済の活性化につながることを期待しているところであります。

介護保険

65歳以上の第1号被保険者に関わる介護保険料の賦課は、8月7日に納付書の発行・通知を1592名の対象者に行ったところであり、昨年と比較して44名の増とな

っております。

河川改修

近年の多発する豪雨災害に備え改修を進めている「4号川」については、周辺流域の安全確保を図るため、今年度も早期に着手したところであります。

また、北海道が管理する河川の改修など対策が必要な部分については、町政懇談会終了後、9月10日に所管する上川総合振興局旭川建設管理部署別出張所に出向き、できる限り早期に改善を図り、河川周辺の安全を確保するよう強く要望してきましたところであり、今後、関係機関との連携を強化しながら、防災対策に努めてまいります。

お客さま窓口関係

これまで住民票の住所は、地番で表示してありましたが、同じ地番に複数の世帯が暮らしていた場合、郵便物が正確に届

かない場合があることから、より正確な住所を表示するため、公営住宅やアパートなどにお住まいの世帯に限り、公営住宅などの名称と居室番号を住所として表示することとしたところであります。

和寒ふるさと

まちづくり応援寄附金

昨年10月から始めたふるさとギフトの効果もあり、順調に推移しているところですが、今後、寄附をしてくださる方の利便性を考慮した申し込み方法や、魅力あるギフトメニューなどの検討を進めてまいります。

町立病院事業

町立病院の患者数について、前年同期と比較しますと、入院で567人の減、外来で201人の減となっております。このことにより、医療収益も前年度を下回る状況あります。その要因として、前年

度より主に長期入院患者が減少していることが挙げられますが、7月に道から公表された2025年の道内必要病床数、人口減少や在宅医療への転換などで2013年より1万床以上減少するという推計もあり、今後、こうした動きも注視しながら、町立病院の役割を果たしていく必要があると考えております。

未来を拓く 人づくり推進事業

当事業の国際交流研修については、例年、冬休み期間に実施してまいりましたが、本年度は、8月10日から14日の5日間にわたり、中学2年生、32名の参加により実施されたところであります。

研修先の台湾では、高雄市の中学校や専門学校との交流のほか、台北市での社会見学など研修を終えて、生徒と随行者全員が予定どおり無事帰町したところであります。

TOPIC 議会

議会広報委員会研修

8月18日に株式会社バリオン（広告制作会社）を訪問し、同社の編集理念や当町議会だよりの内容の添削等について学んできました。

19日は、ホテルポールスター札幌において全道



▲(株)バリオンの視察



▲全道議会広報研修会

議会広報研修会が開催され、グラフィックデザイナーの芳野政明氏による講演を受けました。

また、希望をした町村の議会広報紙に対して講習を行う「クリーニック」では、和寒町を含む9町の議会広報紙に対する紙面編集のポイントや視覚化の基礎知識（書体、色とアミ、レイアウト、視線の流れ等）について学んできました。

今年の作柄は？ 農作物生育状況調査

8月27日に農業委員、JA役員、町理事者など、町内関係機関合同での農作物生育状況調査が行われ、本議会も同行しました。水稲・南瓜・大豆の圃場を視察してきました。

道路・施設等 工事箇所を視察

10月14日に本年度発注した工事の現地調査を行いました。
全12箇所をまわり、担当者から各工事の概要を説明してもらいながら、進捗状況等を確認しました。

第4回町議会臨時会

10月14日
開 催

表彰

和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。

(全員賛成可決)

- 功労章
 - 高橋 政利様 (三笠)
 - 須貝 博夫様 (西町)
 - 塚崎 正様 (西町)
 - 大瀬 忠勇様 (三和)
- 功労表彰
 - 酒向 勤様 (東丘)
 - 中原 浩一様 (松岡)
 - 工藤 昭様 (東町)
 - 瓜 るみ子様 (西町)

善行表彰

- 海端 實様 (三笠)
- 旭川設計測量(株)様 (旭川市)

委員会付託

【平成26年度和寒町各会計歳入歳出決算認定】
一般会計他5会計の決算認定については、9月定例会で設置した決算審査特別委員会に付託され、閉会中に審査することとなりました。

～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴しての感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置しますので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。



町民インタビュー 聞かせて



▲近藤俊人理事長

平成二十七年四月に発足した北のきらきらキッズプロジェクト（略称K3プロジェクト）の近藤俊人理事長にお話を聞かせていただきました。

今回K3を発足した理由は何？

私個人も、子育て世代として、これからの子どもたちにいるいろいろな体験学習をさせたいと考えていました。

そこで、同じ子育て世代の方に声をかけたところ、同じ志を持った方々が賛同していただき、子どもたちに様々な活動を通して感動の体験を共有する場と、私たちの活動

が少しでも和寒町の活性化につながればと考え多くの協力のもとと会を発足致しました。
自分自身の小さな頃の自然体験を今の子どもたちにも体験してもらいたい。また、その中から少しでも楽しい思い出や発見・学びにつながれば…。それが一番の理由ですかね。



子ども達の活動の様子は？

今年には和寒町が開村100周年ということもあり、和寒小学校5年生に100年前に作られていた米の田植と稲刈りを行いました。

当時と同じように裸足

に手作業で田植えをしてもらい、子どもたちも最初は田んぼに入ることに抵抗があったようにも見えましたが、楽しそうに田植えをして頂きました。また、収穫した米を試食も予定し、食育にもつながってくれればと思います。

また、塩狩峠で実施した「子ども夏合宿」では、測量機器を使用しての測量体験や薪割り体験など、普段、なかなか体験のできない活動をしてもらいました。

いつも驚かされるのが子どもたちの行動力や発想力！私も活動を通して子どもたちから元気をもらっています。



これからの会の活動は？

地域の将来を担うのは地域の子どもたちだと私は思います。将来を担う子どもたちの成長の中で、少しでも私たちの活動が子どもたちにとって有意義な時間になる様、今後も会員一同協力し和寒町の大自然を活用した事業を企画して、楽しみや遊び・学びを通して「和寒町に生まれてよかった。」その様な思いを少しでも持つてもらえるような取り組みを会員の協力のもとにしていければと思っています。



広報委員の一言

昭和3年に新聞記者の丹野獄二氏が和寒村に赴任し、当時の和寒の世相を書いた「我郷和寒」がある。また、藤田明朗氏の「和寒今昔物語」が昭和50年に発刊されている。

これ以降「凍烈のひびき」までの記述は町史によるものだけである。

この間の出来事は広報誌で伺うことができが、全てではない。多くの先人たちは郷土発展のために尽力されてきた。そんな話を直に聞いてみたいが今はもう生きてはいない。

我々が後世に残せるのは、和寒がどんな過程を経て今を迎えているかである。開村百年もまた、後世にしっかりと引き継ぐことが大切である。

(明)